

第120号 社協 ようろう



養老福祉作業所では、コロナ禍により外出が難しくなっている利用者さんに外出気分を味わって頂くためにお楽しみ会「さあ 出かけよう」を開催しました。

一人3,000円の作業所内通貨を持ち、映画のチケットや、ランチの食券を買ったり、ワークショップで写真立ての材料費を払ったりしながら、お金の使い方を楽しみながら学びました。

また、岐阜県のマスコットキャラクター「ミナモ」も登場して、一緒にダンスを踊ったり、記念撮影もしました。撮影した記念写真は、ワークショップで作った写真立てに入れて飾りました。



ひよこハウス 子育てサロン

皆さんのお住まいの地区公民館・こども園・保育園等で、乳幼児とその保護者の方が一緒に遊べる「ひよこハウス子育てサロン」を開催しております。

毎回いろいろな催しがあり、保護者の方も交流を深めることができますので、お気軽にご参加ください。

○日程と場所

4月20日(水) 中央公民館
5月18日(水) 中央公民館
6月15日(水) 中央公民館

○定員

各日、先着順 15組

○時間

午前9時45分～11時30分

新型コロナウイルスの状況や天候等により中止になることがあります。最新の開催情報は、養老町社会福祉協議会ホームページかお電話でご確認ください。

○お問い合わせ

養老町社会福祉協議会
☎0584-34-3504

あなたのご相談に無料でお答えします。

心配ごと相談 あなたのお困りごとの相談を受けます。

○老人福祉センター(2階生活相談室)
毎月第2・第3水曜日 午後1時～午後4時

法律相談 弁護士が法律に関する相談を受けます。

○老人福祉センター(2階生活相談室)
毎月第3木曜日 午後1時～午後3時
※予約が必要です。
あらかじめ電話で予約してください。

心あたたまるご寄付ありがとうございます

次の方々より善意のご寄付をいただきました。趣旨に添って、有効に活用させていただきます。ありがとうございました。



養老町赤十字奉仕団さま
養老町社会福祉協議会へ 30,000円



大垣共立銀行さま
養老町社会福祉協議会へ 100,000円
使用済切手 20kg 使用済プリペイドカード 2,000枚

藤田 保 様	300,000円
松永 大樹 様	100,000円
匿名(2件)	90,000円

新型コロナウイルス感染拡大防止の為、各事業を中止または延期させて頂くことがあります。

最新の開催情報は、養老町社会福祉協議会ホームページかお電話でご確認ください。

普段よりホームページでは社会福祉に関する情報を発信しております。



養老町社会福祉協議会

検索

<http://www.yoro-shakyo.jp/>



編集発行 社会福祉法人
養老町社会福祉協議会
養老町高田 79-2
TEL 34-3504
FAX 34-0066
発行日 令和4年3月吉日

令和 3 年 11 月 26 日

地域で支える認知症講習（町民会館）



養老町より委託された「生活支援体制整備事業」の活動として、ふれあいいきいきサロンの代表者とサロンの参加者を対象に講座を行いました。

日赤岐阜県支部から赤十字健康生活支援講習指導員「米盛 志のぶ氏」を講師に招き「地域で支える認知症」と題しまして講話だけではなく、実際に体操などをしながら、認知症の予防と早期発見、認知症高齢者への対応を学びました。

この講習会で学んだことを今後のサロン活動に活かしていきたいと思います。

生活支援体制整備事業についての詳細は右のページをご覧ください。

令和3年度 共同募金（赤い羽根・歳末たすけあい）一覧

		赤い羽根	歳末たすけあい	
	支部名	金 額 (円)	金 額 (円)	合 計 (円)
1	高田	467,480	196,040	663,520
2	養老	276,210	115,830	392,040
3	広幡	159,650	66,950	226,600
4	上多度	266,290	111,670	377,960
5	池辺	317,130	132,990	450,120
6	笠郷	419,740	176,020	595,760
7	小畑	224,130	93,990	318,120
8	多芸東	71,300	29,900	101,200
	多芸西	143,220	60,060	203,280
9	日吉	153,450	64,350	217,800
10	室原	88,350	37,050	125,400
	合計	2,586,950	1,084,850	3,671,800



「赤い羽根共同募金」並びに「歳末たすけあい募金」には、皆様の深いご理解とご協力をいただき、実績を収めることができました。厚く御礼申し上げます。

皆さまからお寄せいただいた尊い浄財は、お年寄りや障がいのある方への福祉サービスや社会福祉施設の整備などに有効に活用させていただいております。今後とも共同募金に皆さまの温かいご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

その他（街頭募金・募金箱等）の赤い羽根募金

【街頭募金 合計 4,096 円】
オークワさま トミダヤさま

【募金箱 合計 11,413 円】
オークワさま、㈱藤太さま、酒清酒店さま
養老町役場、老人福祉センター

事業紹介「生活支援体制整備事業」



「生活支援体制整備事業」とは？

いつまでも養老町で暮らし続けるためにみんなで考え、みんなでつくる『**支え合いのしくみ**』を整備することです。

今後、地域で自分らしく元気に暮らし続けるためには、「住まい、医療、介護、生活支援、介護予防」などが、一体的に提供されるしくみ＝「**地域包括ケアシステム**」をつくることが必要となります。

その中でも、生活支援・介護予防についての基盤整備という点から、各地域の特性に応じてつくる支え合いのしくみづくりをお手伝いします。

なぜ、支え合いのしくみを整備することが必要なのか？

養老町では団塊の世代が後期高齢者となる2025年には、高齢者（65歳以上）は8,818人、高齢化率は36.0％、そのうち、後期高齢者（75歳以上）は4,904人となり、高齢者の20.0％に達し、要介護（要支援）認定者は、1,737人に達すると推計されています。高齢者が増えれば、その分医療や介護の需要が増加し、このまま医療や介護の需要が増え続ければ、病院や施設の数、職員が不足して現場が機能しなくなるとも言われています。

みなさんのアイデアがキッカケとなり支え合いのしくみができます。

この事業では、介護予防などをはじめ地域のさまざまな活動創出の仕組みを構築します。具体的な活動の内容は、住民の皆さんの情報からアイデアを出し合うことで決まります。養老町社会福祉協議会は各種関係機関とともに、住民の皆さんとこの事業を進めていきます。